



名古屋第一赤十字病院

日本赤十字社

地域医療支援病院・地域がん診療連携拠点病院
救命救急センター・総合周産期母子医療センター
地域中核災害医療センター
造血幹細胞移植推進拠点病院



目赤なごや

Vol.66
Autumn 2019

● Medical Frontier

内視鏡センター長 山口 丈夫 医師

お知らせ

- ピンクリボンフェスティバルを開催します!

ふれあい通信

- 涼やかな癒しのひととき
なごやかコンサートを開催!
- 病理診断部門単独で国内認定第1号!
ISO 15189 を取得しました
- 栄養のいろは
「○○の秋」といえば…?

● Professional Style 馬場 周作さん



Professional Style

プロフェッショナル
スタイル

Vol.66

表紙のひと

中央手術室 看護師
救護班 第1班
愛知DMAT
ばば しゅうさく
馬場 周作さん



手術室看護師として勤務する傍ら、
救護班の一員として災害救護に携わっています。

日赤さんがいてよかった!という 被災者の想いに応えたい。

台風や地震、火災、事故など、災害はある日突然訪れて私たちの平穏な暮らしを奪います。例えば、南海トラフ地震などが起これば、病院が被災する可能性もあります。その時、災害救護の中心となるのが私たち救護班です。当院には1班から10班まで救護班が設置されており、いつでも出動できる体制が整っています。

救護班は、医師を中心に看護師、ロジスティクス*、薬剤師、助産師などで編成されています。熊本地震や西日本豪雨などの被災地への緊急派遣から、院内スタッフの救護研修、地域の防災訓練の指導まで、活動は多岐にわたります。

当院は、災害拠点病院に指定されているため、いざという時は院内一丸となって地域医療を支えていかねばなりません。そのためには、私たち救護班が経験

してきたことをできる限り臨場感をもって皆さんにお伝えできるよう、研修や訓練にも工夫を重ねています。

救護班の一員として被災地に赴くと、赤いユニホームを見ただけで「日赤さんだ!」と駆け寄ってきて、ホッとした表情をみせる被災者の方がたくさんおられます。その期待や信頼に今後もお応えしていくために、私たちはあらゆる不測の事態に備えて救護のスキルを磨くとともに、心と体の鍛錬を日頃から心がけています。

イレギュラーの状況で、いかに 力を発揮できるかが大切です。

手術室看護師として19年、救護班の看護師として7年のキャリアになります。手術の現場も、災害救護も、常に冷静な判断力と柔軟な発想、対応力が求められます。

特に災害の現場では、そのほとんどが経験したことのない場面の連続ですし、

患者さんを取り巻く環境は刻々と変化するため、1分1秒、0コマ何秒の見極めが大切です。この先に起こりうるあらゆる可能性を考えて、チームで情報を共有しながら、お互いの意見を調整し、次のアクションに備えていく…。医療の知識や技術はもちろんのこと、究極の場面で試されるのは人間力かもしれません。何気ない毎日の中で何を考え、どう過ごしていくか。職場でのコミュニケーションの取り方も実は大事な学びの要素です。

手術の時も、救護の時も、チームが100%の力を発揮して患者さんの治療にあたるように配慮するのも看護師の役目。日常の業務を通して、若いスタッフを育てながら、学びあいながら、自分も一緒に成長していく…。その積み重ねがかたちとなって、患者さんや社会のお役に立っていただけたくらい思います。

※車両や無線の取扱の他、様々な手配を行う業務調整員

栄養の いろは

第5回 「○○の秋」といえば…?

まだまだ日中は暑い日が続きますが、少しずつ秋の気配も漂ってきましたね。

秋といえば「スポーツの秋」、「芸術の秋」とも言われますが、やはり「食欲の秋」を思い浮かべる方が多いのではないのでしょうか。

「食欲の秋」は多くの食べ物が旬を迎え、四季の中で最も食欲の増進する季節であること、夏バテで減った体力が回復するとともに食欲も回復すること、寒い冬を乗り越えるために秋に食欲が増すことなどが由来とも言われています。

秋に旬を迎える食べ物といえば秋刀魚(サンマ)です。秋刀魚には血液中の悪玉コレステロールや中性脂肪を減らす作用があるとされるEPAという油が豊富に含まれています。その他にも秋の代表的な果物と言えば柿でしょうか。柿は抗酸化作用や美肌効果のあるビタミンCを豊富に含んでいます。お庭に柿の木があり、毎年楽しみにされている方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

秋は美味しい食べ物が多くつつい食べ過ぎてしまうこともあるでしょう。しかし、

「腹八分目に医者いらず」、「大食は命の取り越し」といった言葉があるように、いくら体に良いと言っても食べ過ぎは禁物です。食べ過ぎたかなと思った時は是非「スポーツの秋」にも取り組んでみてはいかがでしょうか。



日帰りで検査、診断、切除まで。 内視鏡は、体への負担が少ない がん治療法の一つです。

内科ですが、内視鏡で 多くのがん(腫瘍)を取っています。

内視鏡は先端にCCDカメラと治療器を内蔵した直径10mmほどの細長い管です。古くは胃カメラと呼ばれ、胃の中を撮影するものでした。現在は、胃や食道、十二指腸、大腸などの様子を高精度モニターに映し出し、その場で診断、治療ができる医療機器へと進化しています。

最先端の画像技術によって、今まで発見できなかった微小な病変を見つけられるようになりました。内視鏡の先端には鉗子孔という穴があり、そこから様々な手術道具を取り出して、組織の採取や早期がん、ポリープの切除を行います。

胃カメラ=苦しいとイメージされる方は多いのですが、近年は、鼻から入れる5~6mm径の細い内視鏡やカプセル型の内視鏡も開発されています。当院では2014年よりカプセル内視鏡を導入し、従来の内視鏡では難しかった小腸の検査に活用しています。

一般に、内視鏡は細いほど挿入の違和感が少ないとされています。しかし、スリム化すると内視鏡から得られる情報も少なくなります。当院は地域がん診療連携拠点病院(がん専門病院)であり、地域の病院を経て精密検査に訪れる方が多いため、検査の精度や機能を重視して、あえて10mm径の内視鏡を用いています。

クリーンコロン(腸をキレイにする)で 発がん率が下がります。

内視鏡は、世界シェアの9割以上を日本のメーカーが占めるなど、日本の専売

特許ともいえる医療技術です。豊富なデータベースの中から見えてきた事柄は多く、治療法も日々進化しています。

例えば、腫瘍の切除。これまでは、小さな腫瘍は内視鏡で、大きな腫瘍は手術で取るのが定石でした。ところが、がんの進行度は大きさではなく、深さや組織の悪性度に関係することがわかってきました。当院でも100mm以上の腫瘍の症例がありますが、広いだけなら内視鏡で取るというのが昨今の動き。複雑な症例は手術にお任せしますが、初期のがんやポリープの切除は内科で行えます。

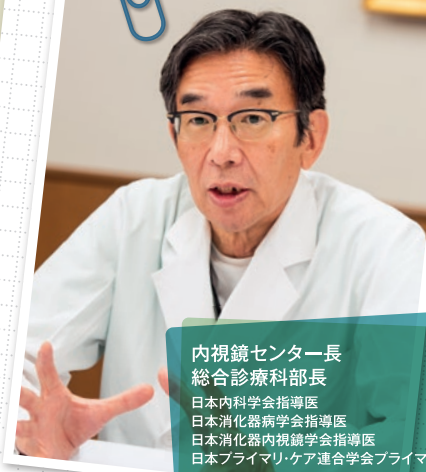
日本では年間5万人以上の方が大腸がんで亡くなっており、大腸ポリープの患者さんも年々増加しています。中でも腺腫性のポリープは将来がんになる恐れがあるため、小さくても切除する傾向にあります。大腸内の腺腫やがんを取り切ることをクリーンコロン(大腸の洗浄)と呼びますが、クリーンコロンで発がん率が下がることは世界的な臨床研究で明らかにされています。

内視鏡センターは、24時間体制で 患者さんの治療にあっています。

当院では年間12,000件の内視鏡検査と治療が行われており、そのうち1,000件以上は「緊急内視鏡」です。患者さんの多くは吐血や下血など、出血を伴う疾患のため、一刻も早く止血して救命しなければなりません。内視鏡ならいち早く出血箇所を探し出し、鉗子孔にあるクリップ等で止血できます。体を切開しないため、入院期間が短く、社会

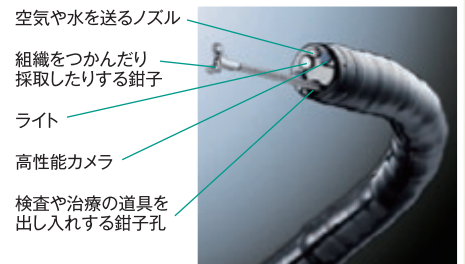
復帰も早いのが特徴です。昔は緊急手術でしか対応できなかった症例も、現在は内視鏡でできることが増えています。

内視鏡の進化は、患者さんの痛みや負担を減らし、医療の可能性を広げています。今後は人工知能(AI)なども導入されて、さらに高度化することでしょう。その時、大切なのはやはり「ひと」と思います。私たち医師は、いかに技術を磨き、この便利なツールを患者さんのために役立てていくか。常に最善の選択肢を考えながら治療にあたっていきたいと思います。



内視鏡センター長
総合診療科部長
日本内科学会指導医
日本消化器病学会指導医
日本消化器内視鏡学会指導医
日本プライマリ・ケア連合学会プライマリ・ケア指導医
山口 丈夫 医師

内視鏡のしくみ



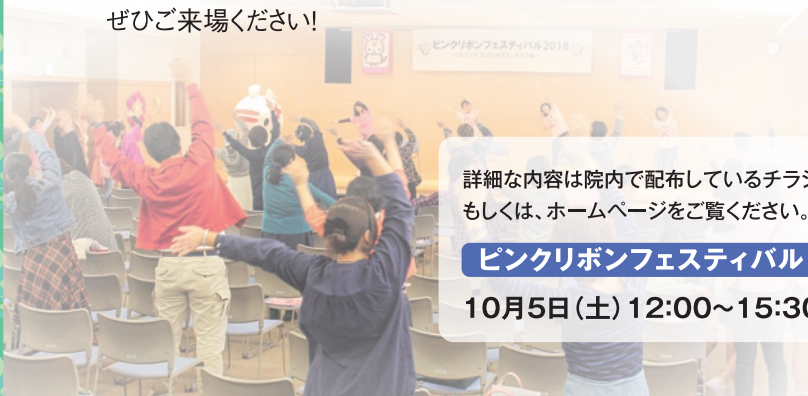
Information
お知らせ

ピンクリボンフェスティバルを 開催します!

10月はピンクリボン月間です。当院では毎年、ピンクリボンフェスティバルを開催しています。今年のテーマは、「もっと知ろう、乳がんのこと」。この機会に乳がんについて知っていただき、一人でも多くの方に乳がん検診を受けていただきたいと願っています。

今年は内ヶ島講堂にて、中京テレビ「キャッチ!」出演中の恩田千佐子アナウンサーにご自身の乳がん体験談についてご講演いただきます。そのほか、フラダンス、キャンサーフィットネス、アピランス(治療によってもたらされる外見の変化に対するメイク)コーナー、同朋高校生と乳腺センター長 岩瀬拓士医師のコラボ企画などもあります。

ぜひご来場ください!



詳細な内容は院内で配布しているチラシもしくは、ホームページをご覧ください。

ピンクリボンフェスティバル
10月5日(土) 12:00~15:30



アピランスコーナーの様子



中国琵琶コンサート

ト・ゼンショウ
中国琵琶の第一人者・涂善祥さんと、奥様でありソプラノ歌手でもある矢野留美さんをお迎えし、今年も中国琵琶コンサートを開催いたします。中国琵琶の独特な調べと心地よい歌声をぜひ会場でお楽しみください。

会場 12月16日(月) 西棟1階ホスピタルモール



がんサロン「コスモス」 開催のご案内

がんによる悩みや不安を自由に語り合う場、がんサロン「コスモス」を開催いたします。予定は下記のとおりです。ぜひご参加ください。

開催日 10月29日(火)
11月26日(火)
12月24日(火)



時間 15:00~16:30
会場 東棟2階 会議室1

健康教室を開講します

参加
無料

テーマ 「糖尿病」
座長 内分泌内科部長 兼 検査部長
尾崎 信暁

テーマ 「学ぼう!糖尿病の基礎知識」
講師 内分泌内科 医師 岡崎 美香子

テーマ 「知って得する!糖尿病の食事療法」
講師 管理栄養士 伊藤 朱音

開催日 11月29日(金) **時間** 14:00~16:00
会場 東棟2階 内ヶ島講堂

※座長は変更になることがあります。

ふれあい通信

Topics
1

涼やかな癒しのひととき なごやかコンサートを開催!

8
19

8月19日(月)、西棟1階ホスピタルモールにてフルート・オカリナ奏者の加藤由記さん、ピアニストの瀧川紀之さん、トランペット奏者の池下知子さんによる「なごやかコンサート」を開催しました。

このコンサートは、加藤さんのご厚志により始まり、今年で12回目。夏休みの恒例イベントとして親しまれ、130名を超える来場がありました。

今年は、アンコールを含めた11曲。「Over The Rainbow」に始まり、ジャズアレンジを加えた「白鳥の湖より 情景」、「枯葉」、「ハリーポッターより ヘドウィグのテーマ」と続きます。他にも「カノン」や「前前前世」など、クラシックから最近の楽曲まで幅広く演奏していただきました。アンコールには「A Whole New World」。その美しい音色に涙する方もみえました。

今年は力強いトランペットの音も加わり、残暑厳しい中ではありましたが、集まった患者さんやお見舞いの方、地域の皆さんを爽やかな音の世界へ誘いました。



Topics
2

病理診断部門単独で国内認定第1号! ISO 15189 を取得しました

このたび病理部/細胞診分子病理診断部は、2019年5月24日付で、国際標準化機構(International Organizing for Standardization:ISO)15189を取得しました。病理診断部門単独での取得は、国内での認定第一号です。ISO15189とは、ヒトの検体を取り扱う臨床検査室の品質と能力に関して、国際標準化機構が検査室向けに作成した国際規格です。

当院における病理検査の主な目的は、患者さんから採取された検体の標本を作製し、顕微鏡的に観察することで正確な診断をしたり、遺伝子学的検索を行い、治療に関する有益な情報を提供することです。ISO15189に基づいた病理検査室運営を行うことにより、検査結果の精度の向上、良質の検査結果の提供が期待できます。

最近では、がんゲノム医療の必要性が高まってきています。がんゲノム医療とは、がんの組織を用いて多数の遺伝子を同時に調べることにより、がんの遺伝子異常を明らかにし、患者さん一人一人に合ったがん治療を提供できるようにする医療のことです。現在厚生労働省は、患者さんが全国どこにいても、がんゲノム医療が受けられるような体制づくりを進めています。全国にはがんゲノム医療中核拠点病院とがんゲノム医療連携病院がいくつかありますが、さらにこの2つの病院の中間的存在として、がんゲノム医療拠点病院が新設される方針です。連携病院である当院は、この拠点病院の認定を目指しています。

このような医療の流れのなかで、ISO15189の取得により、病理部門における遺伝子診断の重要性がますます高まっていくことが予想されます。私たちは、今まで以上に病理診断の信頼性と技術能力向上を目指し、医療に貢献していきます。



外来診療担当医表

※担当医は都合により変更になる事がございますのでご了承ください。 2019年10月1日現在

診療科目		月	火	水	木	金	
内科	血液	小澤	宮村	宮村	小澤	森下	
		後藤	AM 川口	後藤	AM 岡部	尾崎	
		PM 尾崎	PM 森下	AM 松本	PM 一木	PM 後藤	
		PM 大引	松本	PM 岡部・川口	—	PM 一木	
	内分泌	清田	岡崎	尾崎	尾崎	清田	
		岡崎	土田	—	清田	土田	
	腎臓	遠藤	石川	田中	中瀬/今井	石川	
		—	—	—	—	—	
	神経	新患	渡邊	本田/馬淵	平野	小森	高阪
		再診	馬淵	平野	後藤	真野	後藤
			小森	高阪	馬淵	渡邊	本田
	循環器	新患	柴田 <small>(薬)</small>	近藤	福島	平松	黒田
再診		神谷	嶋野	神谷	柴田 <small>(薬)</small>	柴田 <small>(薬)</small>	
		嶋野	宮田	清水	久保田	森下	
※第1・3・5金曜日(午後)専門外来、第2・4金曜日(午後)坂東							
呼吸器	新患	青山	稲垣/高納	谷本/横山 <small>(産)</small>	横山 <small>(産)</small>	田中/町井	
	再診	横山 <small>(産)</small>	谷本	青山	田中	野村	
		PM 石川	町井	PM 稲垣	高納	AM 横山 <small>(産)</small> /PM 横山 <small>(産)</small>	
消化器	土居崎	山口	鷺見	山口	春田		
	鷺見	大橋/PM南	春田/PM松本	大橋	土居崎		
	河村	八田	藤吉	藤吉/PM河村	松本		
	高野	—	南	PM 高野	PM 八田		
総合診療	—	松久	—	PM 榛葉	—		
小児科	午前	福見	濱	大城	鬼頭	大島	
		田中	西門	坂口	福見	竹内	
		羽田野	大萱	三井	佐治木	朱	
		松本	尾関	山田	—	間宮	
	アレルギー	—	—	大林	—	—	
	循環器	三井	—	—	福見	—	
	血液	—	濱	PM 土居崎	吉田	(交代)	
	神経	—	—	竹内	大萱	夏目	
	腎臓	—	渥美	—	—	—	
	午後(専門外来)	新生児発達	鬼頭	中山	藤城	安田	大城
		濱崎	落合	—	—	—	
		予防接種	(交代)	(交代)	—	—	—
乳児健診	—	—	(交代)	—	(交代)		
小児内分泌	—	—	—	—	西門		
●予防接種・乳児健診は10日前までにご予約ください。詳しくは受付にお問い合わせください。							
外科	一般消化器外科	宮田	吉岡	湯浅	永井	三宅	
		三宅	柴田	浅井	神原	永井	
		鶴田	加藤	杉浦	—	水野	
	PM 今瀧	—	—	—	—		
	乳腺内分泌外科	岩瀬	(交代)	後藤	(交代)	岩瀬	
	心臓外科	澤木	伊藤 <small>(新患)</small> ・折居	尾関	—	伊藤 <small>(新患)</small> ・所	
		伊藤 <small>(新患)</small>	—	—	—	—	
血管外科	—	山本	錦見 <small>(新患)</small>	藤井	—		
呼吸器外科	森/福本	森/PM 森	森	—	森		
小児外科	村瀬	千馬	—	(交代)	—		
禁煙外来	毎週火曜日(13時~15時)石川						
形成外科	林/菱田	—	林	—	菱田		
整形外科	新患	杉本	松浦	井戸	田中	長谷	
		井上	山本	八木	洪	井上	
	再診	洪	石川	長谷	山本	石川	
		水野	大塚	松浦	大塚	八木	
		—	田中	—	杉本	井戸	
—	—	—	水野	—			

診療科目		月	火	水	木	金
脳神経外科	服部	和田	波多野	—	(交代)	岡本
	齋藤	—	—	—	(交代)	藤谷
	奥村	—	佐藤	—	—	—
皮膚科	井上	吉川	澤田	澤田	澤田	
	吉川	今井	今井	井上	井上	
	今井	澤	澤	澤	吉川	
泌尿器科	服部	平林	(交代)	PM 松井	服部	
	鈴木	服部	川西	加藤 <small>(産)</small>	平林・松井	
腎移植外来	PM 服部	—	—	—	—	
女性泌尿器外来	加藤 <small>(久)</small>	加藤 <small>(久)</small>	—	加藤 <small>(久)</small> (新患)	—	
		鈴木	PM 加藤 <small>(久)</small>	—	—	
●新患は(木)にご来院ください。						
産婦人科	新患	安藤	廣村	栗林	齋藤	水野
	再診	AM 奥原/PM 江崎	AM 江崎/PM 水野	坂堂	AM 廣村/PM 西子	AM 浅野/PM 奥原
	生殖内分泌・内視鏡	齋藤	安藤	—	安藤	齋藤
	化療外来	—	(交代)	(交代)	(交代)	—
	妊婦診	AM 木村/PM 溝口	栗林	AM 夫馬/PM 正橋	手塚	朝比奈
		津田	—	—	—	津田
	PM 黒柳	PM 正橋	—	—	PM 黒柳	
パースセンター	—	木村	—	溝口	—	
	助産師	助産師	助産師	助産師	助産師	
眼科	佐藤	—	佐藤	(交代)	小林	
	(交代)	—	(交代)	(交代)	(交代)	
耳鼻咽喉科	新患	寺田	鈴木	柘植	土井	伊藤
	再診	柘植	寺田	寺田	柘植	鈴木
		伊藤	土井	鈴木	伊藤	土井
松井	—	松井	—	松井		
リハビリテーション	石川	洪	石川	井上	山本	
放射線科	山田	山田	山田	山田	山田	
	岡田	岡田	岡田	岡田	岡田	
●詳細は受付にお問い合わせください。						
歯科口腔外科	新患	大岩	佐藤	(交代)	長縄	(交代)
	再診	佐藤	大岩	—	大岩	—
		長縄	長縄	—	佐藤	—
早川	早川	—	早川	—		
緩和ケア科	緩和ケア外来	火曜日 PM 湯浅		水曜日 PM 湯浅		

外来診療のご案内

- ◆初診 …… 総合案内で『診療申込票』に必要事項をご記入の上、保険証・紹介状・各種医療証書を添えて、新患受付にお出ください。
- ◆診療受付時間 …… 午前8時20分~午前11時
(緊急および予約されている方はこの限りではありません)
- ◆休診日 …… 土曜・日曜・祝日 年末年始(12月29日~1月3日)
日本赤十字社創立記念日(5月1日)
- ◆セカンドオピニオン 専門外来 …… 詳しくは患者相談室までお問い合わせください。
患者相談室 電話052-485-3503(直通)

お問い合わせ先 **052-481-5111** (代表)

当院は、病院敷地内全面禁煙です。
ご理解とご協力をお願いいたします。

人間ドックのご案内

年に一度の健康管理をしてみませんか?

- ◆健康管理センター …… 電話にてお問い合わせください(予約制です)
- ◆受付時間 …… 月~金曜日(休診日を除く)午前8時50分~午後5時20分
電話052-471-3855(直通)

休診情報はホームページでご覧いただけます。

<https://www.nagoya-1st.jrc.or.jp/>

TOP >> 診療科部門 >> 休診情報



名古屋第一赤十字病院

日本赤十字社

〒453-8511 名古屋市中村区道下町3丁目35番地
TEL.052-481-5111(代表) FAX.052-482-7733
<https://www.nagoya-1st.jrc.or.jp/>

理念

皆さまとの出会いを一期のことと心得、その痛みを分かちあい、苦しみを共にしつつ、一日も早く健康の幸せを喜びあえるよう努めます。

基本方針

- 1 皆さまが安心できる癒しの森といたします。
- 2 高度・良質で安全な医療をいたします。
- 3 災害救護活動を積極的に行います。
- 4 周産期・小児及び救急医療を充実します。
- 5 医療連携を密にして地域完結型の医療を目指します。
- 6 職員の教育・研修を推進します。
- 7 健全経営を維持するように努めます。

臨床研修の理念

医療に必要な不可欠な知識や技術の習得により、いかなる状況下でも人間の命と健康、尊厳を守る能力を身につけることを目的とする。
名古屋西部という都市部における社会構造・高齢化など地域にとって必要な医療を理解し、在宅医療などの社会医療サービスとの連携をはかり、地域医療貢献の修得を目的とする。